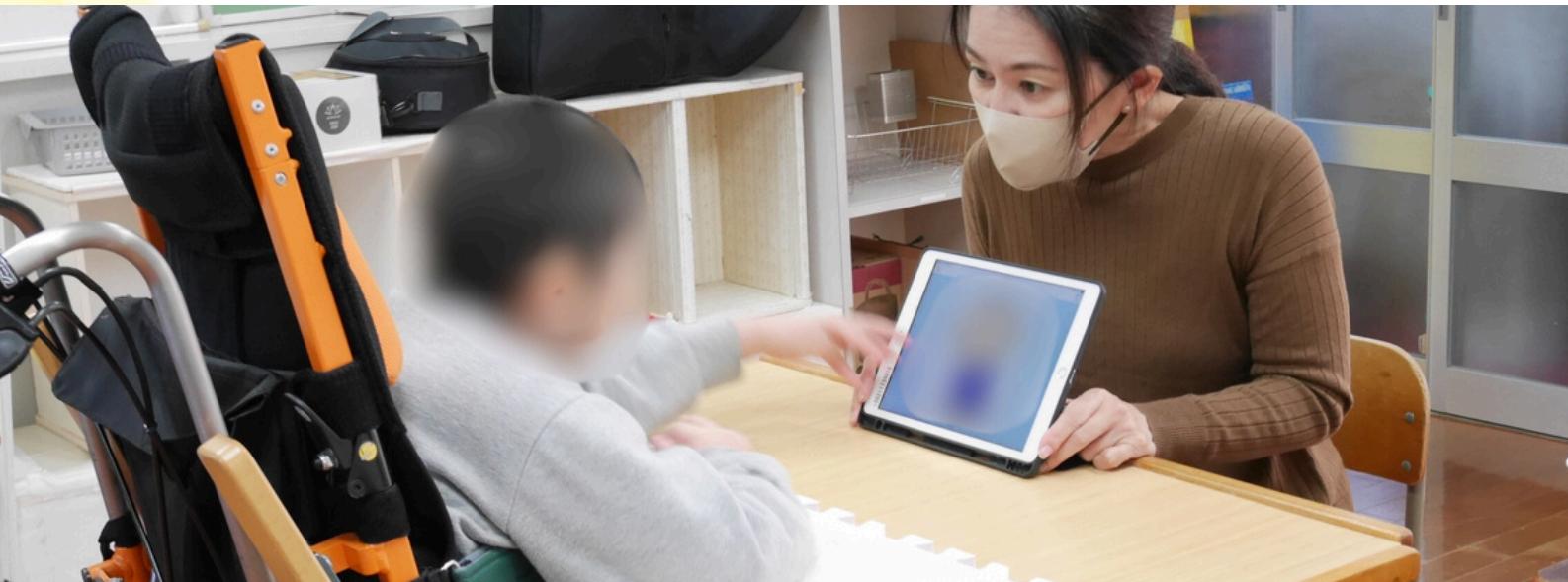


佐賀県教育DX通信

DX-E さが

スーパー・ティーチャーによる1人1台端末を活用した授業公開
会場 佐賀県立金立特別支援学校

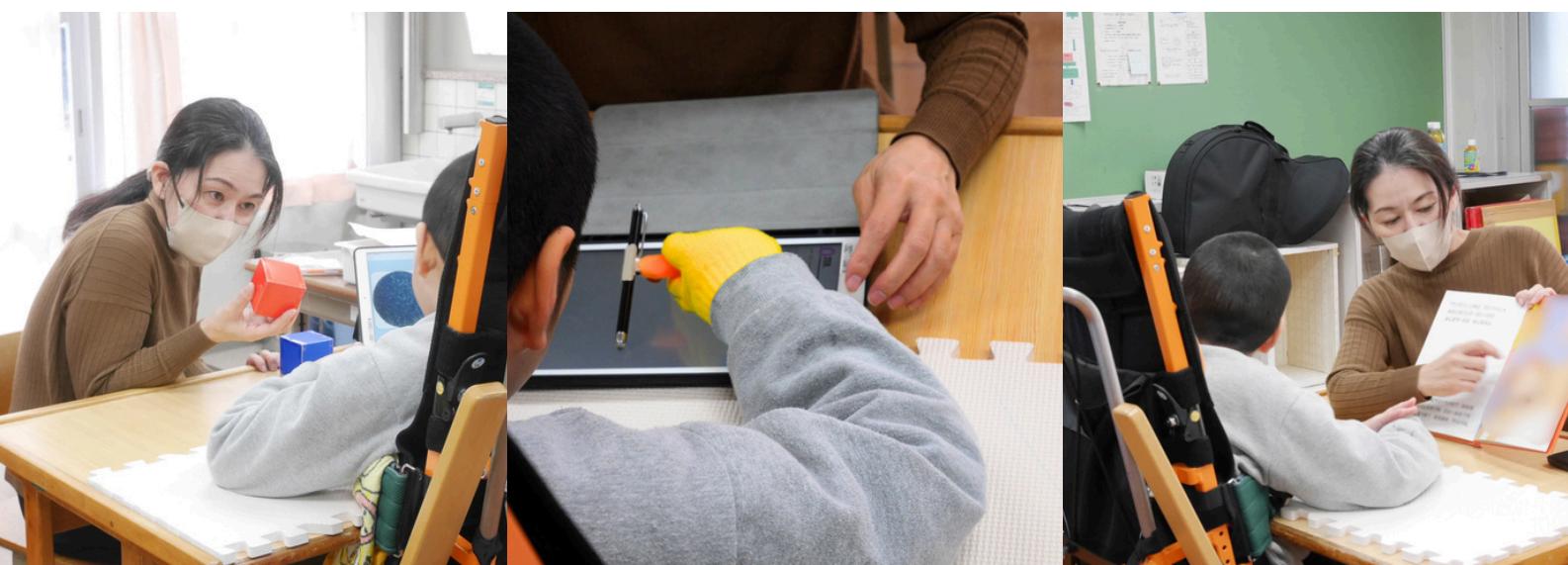


本告　由美子 教諭

2025.11.25 授業公開

スーパー・ティーチャー

特別支援教育の実践です。児童の実態を十分に把握し、授業の中ではさまざまなアプリを使うことで、児童の学びを支援します。例えば、コミュニケーションアプリ「DropTap」を活用することで、自分の思いを伝えたり挨拶をしたりする力を育んでいます。また、線を書くときに音が出るお絵かきアプリを使うことで、児童の興味を引き学習への集中力を引き出します。様々な工夫により児童がしっかりと活動できる環境を整え、表現力の向上を目指した素晴らしい授業でした。



はじめ

国語科

算数科

まとめ

1. はじめの挨拶をする。

- ・学習の始まりに気付くことができるよう、コミュニケーションアプリ（DropTap）を立ち上げたタブレット端末を準備し、児童が押しやすい位置に提示する。
- ・学習の流れに見通しをもち、楽しんで進めることができるようコミュニケーションアプリを使い学習を進める。



挨拶をしているところ

2. 絵本を選ぶ。

- ・2冊から好きな本を選べるように写真を提示する。
- ・本を見た後の気持ちを選べるように気持ちを表したイラストを2種類提示する。



本を選んでいるところ

3. 自分が頑張った活動を選ぶ。

- ・児童が頑張った活動を思い出し、選んで伝えることができるよう午前中の活動の写真を2種類提示する。



頑張った活動を選んでいるところ

4. 書く練習をする。

- ・手元に視線が向き、楽しく書く動作ができるよう音が出るお絵描きアプリを使う。
1回に応じた手立て
- ・端末の誤反応を防ぐために手袋をつける。
- ・タッチペンを持てるようにした補助具を準備する。
- ・クレパスの色を2種類から1つ選んで、用紙に線を書けるようにする。



書く練習をしているところ

5. 様々な形のもので遊ぶ。

- ・形の違いを体感できるように3つの形状の箱、ボールを準備する。

<算数科>

形の違いに気付き、教具の形によって触り方を変えようとしている。【思・判・表】



形を選んで遊んでいるところ

6. 振り返りをする。

- ・学習の振り返りをし、気持ちを表したイラストを2種類（疲れました／楽しかったです）提示しながら感想を尋ねる。

7. 終わりの挨拶をする。



イラストを選んでいるところ

「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

先生たちの広場

ID : ○○○○○

PW: ○○○○○

